

取組事例

1 市町村の事例

(3) 文化・芸術活動に関すること

事業名

「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」展

目的

ディック・ブルーナの作品とその背景を通して、モダン・アートの楽しみ方を紹介するもの。

実施主体

長岡市栃尾美術館

参加対象

一般市民

参加者数

観覧者数：6,510人

回数

3回

日数

61日

時間

11時間

場所

長岡市栃尾美術館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月18日(土)～ 11月28日(日) 9:00～17:00	「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶ モダン・アートの楽しみ方」展	なし
	内容・方法	ブルーナの絵本をガイドにミッフィーと一緒に当館所蔵品を鑑賞する「見てみよう」、ブルーナの作品約80点を展示紹介する「考えてみよう」、ブルーナの手法を体験する「作ってみよう」の3つの視点から、ブルーナの世界とその背景にあるモダン・アートの楽しみ方を紹介した。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	9月25日(土) 13:30～15:30	関連ワークショップ 「布で表現しよう～ブルーナの世界に習って」	長谷部 昇 様
3	内容・方法	ブルーナのデザインやモダン・アートのモチーフをヒントにパズルのようなレリーフを作る。	
	期日・時間	テーマ	講師等
3	11月7日(日) 13:30～15:30	関連ワークショップ 「家族に贈る ちいさな絵本づくり」	高橋 久美子 様
	内容・方法	開くたびに変わるトリック絵本や家族に贈る紹介絵本などを制作する。	

成果

限られた予算状況だったが、県内保育園、育児施設、小児科歯科等の医療機関など、的を絞った広報が効果的であった。また、館内に装飾を施し、展示室以外での撮影ができることをアピールした事で、若い世代を中心にインターネット上のブログ、ツイッター等で情報が広がった。結果、観覧者5,000人という当初の目標を上回り、開館以来の企画展では6番目の数となった。また、見るだけでなく触ることのできる作品の展示や、いつでも体験できる創作コーナーやショップの設置なども功を奏し、来館者の滞在時間が長いことが特徴的だった。

課題

広報にあたり、限られた印刷物をできるだけ有効に活用するため、内容や配布先をさらに吟味したい。また、今回のように、来館者の滞在時間が長くなるような工夫を考えていきたい。

問合せ先

長岡市栃尾美術館（担当：稲田亜紀子）TEL:0258-53-6300

事業名 講演会**目的**

関連資料等の施設内展示に併せて講演会を開催し、図書館利用の促進を図るとともに、一般教養及び趣味等を身につける機会を提供する。

実施主体

長岡市立中央図書館

参加対象

一般市民

参加者数

240名

回数

2回

日数

1日

時間

3時間

場所

長岡市立中央図書館2階 講堂

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月3日(土) 14:00～15:30	長岡が生んだ伝説の古書店主反町茂雄氏の人と業績	八木書店・日本古書通信社社長 八木 壯一 様
	内容・方法	反町茂雄氏の人物像や業績について、反町氏との交流体験談や、思い出話を交えて解説していただいた。	
2	10月16日(土) 14:00～15:30	昆虫達の不思議な世界	写真家 今森 光彦 様
	内容・方法	スライドを使っての昆虫達の解説や撮影秘話をはじめ、今森氏の少年時代の体験談等について講演いただいた。	

成果

関連資料等の展示に併せて開催したこともあり、参加者はより理解を深めることができたと思われる。

課題

より大勢の利用者から参加してもらい、併せて図書館の利用促進も図れるよう、他の自主運営事業とのタイアップなどによる開催方法や、内容について検討していく必要がある。

問合せ先

長岡市立中央図書館（担当：渡辺茂）TEL：0258-36-7832

事業名**美術品展示事業「新発田アートビギナーズ倶楽部」****目的**

「美術館のない美術館」のまち構想の一翼を担う人材育成の第一歩として、アート初心者を対象に広く市民から募集し、鑑賞会や研修をとおして、市が所蔵する数多くの作品に親しむことで、芸術文化の関心を高めるとともに、作品の保護や活用等について積極的に活動できる人材の養成を目的とする。また、生涯学習の一環として位置づけ、芸術文化分野における多角的な視野と技術を養うことで、参加者のいきがいくりに繋げるものとする。

実施主体

新発田市教育委員会

参加対象

アートに関心のある18歳以上の方

参加者数

9名

回数

6回

日数

6日

時間

34時間

場所

豊浦庁舎3階会議室 新潟県立近代美術館 新発田市生涯学習センター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月9日（土） 13：30～15：30	開講式 オリエンテーション 研修・鑑賞会 「収集と保管」	生涯学習課学芸員
	内容・方法	美術活動の前提となる新発田市の所蔵作品について、その内容を学んだ。どのような作家のどんな作品が所蔵されているのか、所蔵の意義を考える。 市収蔵庫見学を兼ね主な作品を鑑賞した。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	10月10日（日） 10：00～17：10	施設見学（新潟県立近代美術館） 作品鑑賞会	新潟県立近代美術館職員
3	内容・方法	普段は見ることの出来ない美術館の施設（バックヤード）を見学した。 見学の後は企画展「ボンペイ展」を鑑賞し、解説会にも参加した。	
	期日・時間	テーマ	講師等
4	10月23日（土） 13：30～15：30	研修会「作品の取扱い」	生涯学習課学芸員
	内容・方法	いろいろな美術作品の取扱いや展示について、知識を身につけた。 実習として、作品養生用の「綿座布団」作りを体験した。	
4 5 6	期日・時間	テーマ	講師等
	10月29日（金）13：30～15：30 11月1日（月）9：00～17：00 11月8日（月）9：00～17：00	実践研修	生涯学習課学芸員
4 5 6	内容・方法	市が主催する「新アートコレクション展 PART II」の作品の運搬、展示、会場撤去等の実践をとおして、作品の取扱いや展示方法について学んだ。	

成 果

美術への関心を高めることを人材育成の第一歩として考え、アート初心者を対象に募集としたところ、昨年度以上の参加者があった。初心者を対象としたことで、より気軽に参加できる印象を与えたことが参加者増加につながったと考えられる。また、活動内容についても大変有意義であったと高評価をいただいております。研修内容や学芸員の講話が参加者に受け入れられた結果といえる。

課 題

今後も初心者を対象に新たな会員を募集していくとともに、現会員にも引き続き参加いただくよう呼びかけていく。また、参加者の要望もあることから、短期間での活動ではなく年間を通じた活動とし、研修や鑑賞会等を通じて市所蔵作品や取扱いの知識をより高めていただく内容としたい。市の文化行政のパートナーとしての活動が期待される。

問合せ先

新発田市教育委員会生涯学習課社会教育係（担当：相川 聖子）TEL：0254-22-9534

事業名 第1回十日町市神楽サミット

目的 ○市内に現存している「神楽」を一堂に会し、広く市民が伝統的文化に触れる機会及び保存に取り組んでいる団体の発表機会とすることによって、豊かな人間性を育む芸術文化の足掛かりとする。
○保存団体における後継者育成の糸口となるようにする。

実施主体 十日町市教育委員会

参加対象 一般 **参加者数** 出演団体 7団体 約60名

来場者数 約300名

場所 十日町市市民会館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月7日(日) 13:00~開演	【神楽の素晴らしさを伝える】 ○神楽に親しんでもらおう。 ○神楽を育む地域を紹介する。 ○見て、触れて体験してもらおう。	赤倉神楽保存会、芋島神楽保存会 菅沼神楽保存会、田代神楽保存会 野口郷土芸能保存会、湯山神楽保存会
	内容・方法	神楽の舞台発表 ○獅子舞・剣の舞・おかめ狂言など1団体30分の発表 DVD上映 ○集落の風景や祭礼・練習風景などの解説・上映 衣装展示 ○使用している衣装・獅子頭・剣の展示	

成果 市民の方々に、伝統的な神楽を鑑賞する機会を提供することができた。また、それぞれの地域を知っていただく場にもなった。

課題 来場者の方々の多くは、お年寄りやご年配の方であった。今後は若い世代の方たちにも、来場して伝統文化に興味や関心をもってもらえるような演出やPRを工夫する必要がある。

問合せ先 十日町市教育委員会 中央公民館 事業係（担当：水落） TEL：025-757-5011

事業名

第54回 新潟地区文化祭 ～新潟公民館まつり～

目的

作品展示とあわせて各種体験コーナーや催し物などを実施し、近年減少傾向にある文化祭への来場者数の増加を図る。

実施主体

主催：新潟公民館 共催：新潟地区文化祭実行委員会・こみゆにてい ほっと新潟

参加対象

見附市民

参加者数

750名

回数

1回

日数

2日間

時間

14時間

場所

見附市新潟公民館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月14日(日) 9時～16時 11月15日(月) 10時～15時	作品展示	なし
	内容・方法	公民館利用サークルの作品、市展の入賞者(地区民)の作品、新潟保育園児の作品などを展示。また、10月に開催した「絵てがみ講座」の受講生の作品も展示。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	11月14日(日) 9時～16時	広く子どもからお年寄りまで楽しめる催しもの	講師：市民講師
2	内容・方法	体験コーナー ～おとなの学び～ ○本格！蕎麦打ち：公民館講座で収穫したそば粉を使用【参加者／7名】 ○料理教室で婚活「本場山形のイモ煮づくり」：イモ煮のほか、地元産の新米おにぎりも作ってみんなで試食。来場者にも振る舞った。【参加者／25名】 ○美味しい煎茶コーナー：“身近な煎茶”の美味しい入れ方を教わった。【参加者／49名】 ○ペットボトルキャンドルづくり：手作りキャンドルは、夜のイルミネーション点灯イベントの会場に飾った。【参加者／17名】 かみしばい読み聞かせ 今年、新潟地区で結成された“みつげ紙芝居の会「はじまり はじまり」”の皆さんによる読み聞かせ。【参加者／40名】 あそびの広場 大きな絵本、輪投げ、ボールプール、おりがみ、お絵描きコーナー	
	期日・時間	テーマ	講師等
3	11月14日(日) 16時～18時	イルミネーション点灯イベント	なし
	内容・方法	「こみゆにてい ほっと新潟」で例年飾り付けをしている公民館前のケヤキのイルミネーションの点灯とあわせて、今年初めて「イルミネーション点灯イベント」を開催。当日は100名の来場者の皆さんのカウントダウンでイルミネーションが点灯。“ゴスペル生演奏”では、歌詞カードを手にみんなで「上を向いて歩こう」などを歌った。イルミネーションの点灯は2月14日バレンタインデーまで。	
4	期日・時間	テーマ	講師等
	11月15日(月) 10時～15時	新潟小学校の振替休日にあわせて開催。子どもたち中心の催しもの	講師：市民講師 公民館職員
4	内容・方法	体験コーナー ～こどもの学び～ ○ランチを作ろう！（かたん！そば打ち／かたん！サンドウィッチ）：小学1年生から6年生までの子どもたちが自分たちの昼食を作って食べた。【参加者／40名】 ○テーマは“環境”（地球環境カードゲーム／NAMARAの環境紙芝居）：楽しみながら“環境”について学ぶことができた。【参加者／76名】 ○レゴ・ロボット：パソコンを使って自分で作ったプログラムでロボットを動かした。【参加者／6名】 ○バーニングアート：作品展示にもある“バーニングアート”を実際に体験。【参加者／5名】 ○鳥凧づくり：本物の鳥(ツバメ)にそっくりな立体的な凧を作った。【参加者／5名】	
	期日・時間	テーマ	講師等

成 果

盛りだくさんの内容により例年の2倍以上の来場者があり、今年はたくさんの方々から作品を鑑賞していただくことができた。

例年、土曜、日曜に開催していた文化祭を、新潟小学校の振替休日にあわせて日曜、月曜に開催するようになって今年で3年目。今年は学区外の小学生の参加もあった。当日は、体験コーナー「ランチを作ろう」の実施で、子どもたちから一日中公民館で楽しんでもらえるようになり、にぎやかな一日となった。

課 題

文化祭の主軸である“作品展示”の出品数が年々減少してきている。今後は作品づくりの講座開設など、作品数を増やしていく仕掛けが必要。

月曜は平日ということもありスタッフが不足した。急きょ他の公民館職員から協力してもらうことになってしまった。また当日、公民館職員が体験コーナーの講師を務めたため、全体の円滑な運営に支障をきたしてしまった。今回の計画にあたっては準備期間が足りず、全般的に甘い計画となってしまった。

問合せ先

見附市 まちづくり課 新潟公民館（担当：稲田忠義）Tel/Fax：0258-62-2305

事業名

2010 写生会「弥彦を描く」

目的

広く県内外の美術愛好家の方々に創作の機会を提供する。併せて歴史と自然に根ざした村文化の活性化に寄与する。

実施主体

弥彦村教育委員会

参加対象

一般

参加者数

のべ120名

回数

1回

日数

2日間

場所

弥彦総合文化会館 弥彦山周辺（弥彦公園・弥彦神社周辺・大鳥居・国上・夏井ほか）

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4/24(土) ～ 4/25(日)	弥彦を主題にした風物を描く写生会を開催する。	稲田亜紀子 様 田中百合子 様 穂苺 春雄 様 澤海 吉郎 様 猪爪 彦一 様 中野 雅友 様
	内容・方法	1日目・2日目とも写生ポイントにて写生をした後、合評会にて講師より指導・アドバイスを受ける。	

成果

回を重ねるごとに知名度もあがり、参加者も増加。秋に行われる公募展への応募にも貢献している。

課題

参加者の高齢化がみられ、若い世代からの参加が望まれる。

問合せ先

弥彦村教育委員会 教育課（担当：石黒）TEL 0256-94-4311

事業名

第8回「弥彦を描く」公募展

目的弥彦を題材にした絵画を広く公募し、優れた作品を展示することにより、芸術文化の振興を推進し、魅力あるまちづくりを目指す。**実施主体**

弥彦村教育委員会

参加対象

一般

参加者数

161名

回数

一般

日数

23日間

場所

弥彦村総合コミュニティセンター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10/23(土) ～ 11/14(日)	弥彦を題材にした絵画を公募し、展示する。	審査員として 浦上 義昭 様 稲田亜紀子 様 宇賀治徹男 様 澤海 吉郎 様
	内容・方法	10/15(金)～16(土) 作品受付搬入 10/18(月) 公開審査 10/23(土) 授賞式 10/23～11/14 展示期間 11/14(日)～15(月) 作品搬出 ※公募展会期中に、審査員による作品解説あり 10/24(日)10/30(土)10/31(日)11/6(土)11/13(土)11/14(日)	

成果

回を重ねるごとに知名度もあがり、応募者も増加。春の写生会の開催により、作品のテーマも定着してきている。

課題

日本画部門の応募者の高齢化とマンネリ化

問合せ先

弥彦村教育委員会 教育課（担当：石黒） TEL 0256-94-4311